



Taka Ishii

Gallery

1-3-2 5F Kiyosumi Koto-ku Tokyo #135-0024, Japan  
tel 03 5646 6050  
fax 03 3642 3067  
web [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)  
email [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com)

村瀬 恭子「サファイア」

**Kyoko Murase “Sapphire”**

2010年10月30日(土) -11月20日(土)

オープニング・レセプション：2010年10月30日(土) 18:00-20:00

タカ・イシイギャラリーでは、10月30日(土)から11月20日(土)まで、村瀬恭子の新作展「サファイア」を開催致します。豊田市美術館にて今年(2010年4月10日-6月13日)開催された大規模な個展「Fluttering far away」以来の新作を発表する場となる本展では、新作ペインティング約5点に加え、未発表のドローイングを展示致します。

現代の日本を代表する作家として、村瀬はここ数年国内各地で開催されたグループ展への出展を重ねてきました。今年1月より国立国際美術館で開催された、2000年代の絵画を振り返る「絵画の庭—ゼロ年代日本の地平から」展においても、その作品はとりわけ重要なものとして評価されています。

もし「庭展」が示した現代の絵画の特徴が、感覚で外界を探知する態度だと言っているのなら、その道を開いた先行世代は、実は村瀬恭子だったのではないだろうか。(中略)村瀬の絵画は、従来の油彩技法とは全く違う。睫毛のようなささくれの集積、輪郭でせめぎあう隙間、なめらかではなくつかえるドローイングなど、極めて独創的な描写法を繰り返している。その技法は、描かれているものと同様、目を閉じるように敏感に、自分の感覚器官で外界を探知する修練のなかで見つけたものに違いない。

光田ゆり「難解時代以後の現代絵画—絵画の庭展と村瀬恭子」『新美術新聞』2010年6月より抜粋

本展では、「Fluttering far away」展にて発表された新作や「百万年 cave」というタイトルで発表された洞窟をモチーフにしたウォールドローイング以後、新たな展開へと進む新作を発表致します。独特の描写法によって見る者を強く作品世界に引き込む村瀬の新作を、この機会に是非ご高覧ください。

オープニング・レセプションに合わせて作家がドイツより来日致します。ご多忙の折とは存じますが、初日のレセプションに是非ご参加ください。

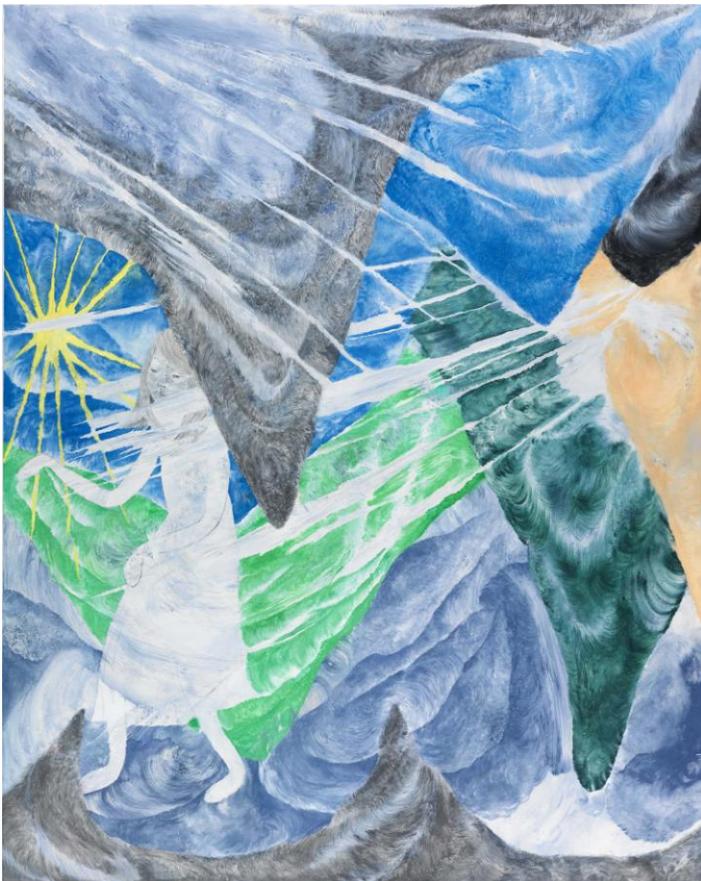
是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願い致します。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

タカ・イシイギャラリー プレス担当：増山貴之

〒135-0024 東京都江東区清澄 1-3-2 5F tel: 03-5646-6050 fax: 03-3642-3067

e-mail: [tig@takaishiigallery.com](mailto:tig@takaishiigallery.com) website: [www.takaishiigallery.com](http://www.takaishiigallery.com)

営業時間：12:00-19:00 定休日：日・月・祝日



Kyoko Murase "Sapphire (Lemon)" 2010

oil on cotton, 240 x 190cm

村瀬恭子「Sapphire (Lemon)」2010年

綿布に油彩、240 x 190 cm